

第2部 平成19年度市町村税の徴収実績

※「市町村税の徴収実績に関する調」より

I 平成19年度市町村税収入済額の概要

1 平成19年度の市町村税収入済額(国民健康保険税(料)を除く。)は、3,284億30百万円(前年度3,071億7百万円)と前年度に比べ213億23百万円の増となり、前年度を6.9%上回った。これは、税源移譲の影響により市町村民税の所得割が大きく増加したことが主な理由である。

2 収入済額を税目別に見ると、構成割合が最も高い市町村民税(構成比44.5%)は、前年度を16.0%上回った。これは所得割が税源移譲の影響により、24.1%の増となったことによるものである。

構成割合が市町村民税に次ぐ固定資産税(構成比42.3%)は、前年度を0.7%上回った。これは、土地は地価の下落等により、償却資産は減価償却により減少となったものの、家屋の新築による増加が土地及び償却資産の減少を上回ったため、全体として増加したものである。

その他の普通税では、軽自動車税(構成比1.0%、伸び率4.7%)が前年度を上回り、市町村たばこ税(構成比4.8%、伸び率▲0.8%)が前年度を下回った。

目的税については、都市計画税(構成比5.9%、伸び率0.8%)、事業所税(構成比1.4%、伸び率2.0%)が前年度を上回り、入湯税(構成比0.2%、伸び率▲5.4%)が前年度を下回った。

3 徴収率で見ると、県全体では92.4%(前年度92.3%)となり、前年度より0.1ポイント上回った。

市町村別の状況では、前年度の徴収率と同率または上回った市町村数は26団体で、残りの10団体は前年度の徴収率を下回った。

前年度の徴収率を上回った市町村は、伸び率順に、松島町(2.5%)、南三陸町(1.6%)、気仙沼市(1.5%)などで、下回った市町村は川崎町(▲1.3%)、大郷町(▲0.8%)、七ヶ宿町(▲0.8%)などであった。

徴収率が高い市町村は、七ヶ宿町の97.7%(前年度98.5%)、女川町の97.6%(前年度97.8%)、多賀城市の95.8%(前年度95.9%)の順となっており、低い市町村は川崎町の76.5%(前年度77.8%)、蔵王町の81.1%(前年度79.7%)、南三陸町の82.7%(前年度81.1%)の順となっている。

また、県平均(92.4%)と同率または上回った市町村数は13団体であり、下回った市町村数は23団体となった。

主な税目別の徴収率は、入湯税95.0%(前年度93.3%)、都市計画税90.4%(前年度90.2%)、事業所税98.0%(前年度97.8%)、水利地益税99.1%(前年度98.0%)が前年度を上回ったが、市町村民税94.4%(前年度94.5%)、軽自動車税90.5%(前年度90.8%)、特別土地保有税2.6%(前年度4.4%)はいずれも前年度を下回った。

また、固定資産税90.0%(前年度90.0%)は前年度と同率だった。

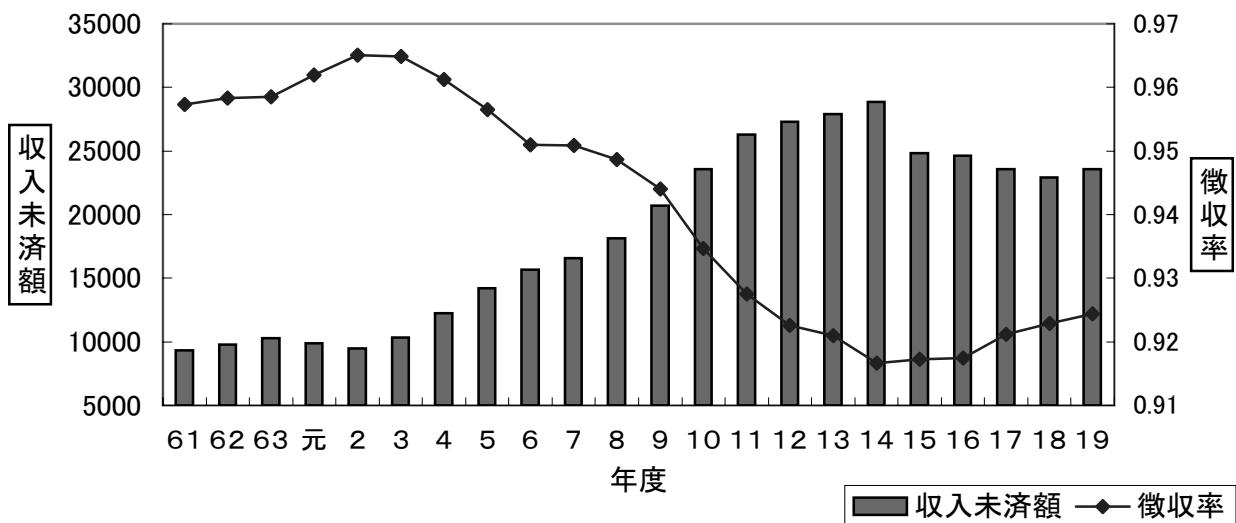
(参考) 年度別市町村税の徴収状況

(単位:千円, %)

年度	調定済額	前年比	収入済額	前年比	収入未済額	前年比	徴収率
61	218,174,903	107.5	208,857,680	107.5	9,317,223	113.9	95.7%
62	234,868,252	107.7	225,076,847	107.8	9,791,405	105.1	95.8%
63	248,198,462	105.7	237,906,533	105.7	10,291,929	105.1	95.9%
元	259,710,584	104.6	249,833,097	105.0	9,877,487	96.0	96.2%
2	271,116,836	104.4	261,648,771	104.7	9,468,005	95.9	96.5%
3	294,685,074	108.7	284,331,395	108.7	10,353,679	109.4	96.5%
4	316,233,499	107.3	303,969,412	106.9	12,264,087	118.5	96.1%
5	326,637,547	103.3	312,436,238	102.8	14,201,309	115.8	95.7%
6	318,937,282	97.6	303,287,446	97.1	15,649,836	110.2	95.1%
7	337,060,571	105.7	320,503,122	105.7	16,557,449	105.8	95.1%
8	353,521,292	104.9	335,372,007	104.6	18,149,285	109.6	94.9%
9	369,695,063	104.6	348,985,553	104.1	20,709,510	114.1	94.4%
10	360,979,765	97.6	337,383,272	96.7	23,596,493	113.9	93.5%
11	362,762,137	100.5	336,455,590	99.7	26,306,547	111.5	92.7%
12	352,711,086	97.2	325,412,680	96.7	27,298,406	103.8	92.3%
13	353,296,355	100.2	325,380,509	100.0	27,915,846	102.3	92.1%
14	345,809,604	97.9	316,974,767	97.4	28,834,837	103.3	91.7%
15	334,970,439	96.9	307,237,079	96.9	24,819,092	86.1	91.7%
16	331,453,201	98.9	304,097,575	99.0	24,648,106	99.3	91.7%
17	332,657,421	100.4	306,432,437	100.8	23,559,306	95.6	92.1%
18	332,751,741	100.0	307,107,272	100.2	22,937,088	97.4	92.3%
19	355,274,933	106.8	328,430,596	106.9	23,580,253	102.8	92.4%

(単位:百万円)

収入未済額と徴収率の推移



※ 平成15年度以降の「収入未済額」が激減しているのは、算出方法を見直したことによるもの。
 平成14年度まで:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」
 平成15年度から:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」+「還付未済額」-「不納欠損額」